

議会のうごき

研修 & 事務調査

5月16日、市町村議会議員研修会が開催されました。研修会は政治ジャーナリストの田勢康弘氏が「愛しき日本 危機を乗り越えるために」、鹿児島県総括危機管理監の平田浩和氏が「鹿児島の防災・危機管理対策について」という演題で講演をされました。

まず田勢氏は、日本経済が速まる情報化のスピードについていけないことに触れ、現在の混沌とした政治の状況は、マスコミにも一因があることを指摘されました。また、原発問題では、電力は地域経済の原動力であることから、日本においては原子力の安全利用のためのさらなる技術向上が求められると指摘されました。

次に平田氏は、東日本大震災においては三十数万人の方が避難され、県内にもピーク時には三百名近い方が避難されていたことを報告され、本県の防災計画や防災対策、また原子力災害対策の暫定計画についても詳しく説明されました。

翌17日は、グリーンツーリズム事業の先進地であるいちき串木野市役所にて、事業の概要や取り組みの説明を受け、また現状と課題について意見交換を行いました。



いちき串木野市での研修

平成23年度は6校延べ7クラス225名を受け入れているとのことでありました。

市の予算はグリーンツーリズム協議会の運営補助金としての10万円ということ、今後の展開については「行政主導ではなく、受入れ家庭相互の情報交換など盛りあがり次第である。今後2〜3年は現状のまま実施する。」とのことでありました。本町も本事業を実施することから大いに参考になりました。

新システムでさらに開かれた議会へ

議会広報の放送機器老朽化に伴い、機器更新について協議していましたが、委員会として決定し全員協議会で報告されました。選定された機器は、議会審議の様子を音声はもちろん、本会議場に設置したカメラを通し、映像も役場ロビー・中央公民館のテレビモニターで見ることが出来ます。今後「開かれた議会」に一層努めてまいります。



清掃作業を実施

7月17日、菱田農業構造改善センター周りの町有地や道路脇の草払いを全議員と事務局職員計16名で実施しました。付近には町営住宅や保育園があり、歩行者・車両等の通行に支障が懸念されることから実施したものです。

今後とも計画的に実施していく予定です。

